九州大学 災害等対策マニュアル (簡易版)

目次

I 災害等発生時の対応・・・・・・・・・・1
1. 地震発生時の対応
2. 火災発生時の対応
3. 風水害発生時の対応
4. 教育・研究活動中の死傷事故発生時の対応
5. 爆破予告を受けた時の対応
6. 自宅等で災害に遭遇した時の対応
Ⅱ 安否確認システム(ANPIC)について・・・・・・・・・・・・5
【別紙】
(別紙1)危機発生時の連絡体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(別紙2)災害発生時の外部緊急連絡先・・・・・・・7
(別紙3)一次避難場所、二次避難場所一覧・・・・・・・・・・・・・・8
(別紙4)緊急時対応フロー・・・・・・・・13







I災害等発生時の対応

1. 地震発生時の対応

地震発生時の三原則		
①その場に合った身の安全の確保	②出口の確保	③すばやい火の始末

(1)地震発生時

- ○研究室、事務室、教室等にいるとき
- ①丈夫なテーブルや机の下など、物が「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」空間 に身を隠し、揺れが収まるまで様子を見る。
- ②揺れが収まったら、避難ができるようドアを開け出口を確保する。
- ③窓際にいる人は、急いで窓際から離れる。
- ○実験室にいるとき
- ①先ずは自身の安全を確保する。
- ②揺れが収まってから、あわてずに火の始末をし、電気器具などの電源を切り、危険物を安全なケースやコンテナなどに収納する。
- ③火災が発生した場合、揺れがおさまってから消火器で初期消火活動を行う。消火不能の場合は、部屋のドアを閉めて直ちに避難する。
- ④二次災害防止のため、危険物の取り扱いに十分注意する。



○廊下にいるとき

- ①ガラスや落下物などにより負傷する危険があるため、むやみに建物の 外に出ず、近くにある机や椅子などの落下物を防げるものの下にもぐる。
- ②近くに落下物を防げるものがない場合は、落下の恐れがあるものの下から離れ、衣服や持ち物などで頭を覆ってかがみこむ。
- ○エレベーターに乗っているとき
- ①全ての階のボタンを押して、停止した階で降りる。
- ②途中で停止した場合は、非常ボタン又はインターホーンで外部に救助を求める。





- ○図書館、体育館、食堂等にいるとき
- ①落下・転倒の恐れがある物(本棚、ロッカー、自動販売機等)から離れ、丈夫なテーブルや 机の下などにもぐり、揺れが収まるまで様子を見る。
- ②隠れるものが何もない場所では、上から物が落ちてこない、横から物が倒れてこない・移動してこない場所に移動し、低い姿勢で、カバンなどで頭を覆う。
- ③揺れが収まってから、あわてずに使用中の電気器具の電源を切る。

○屋外にいるとき

①建物やブロック塀等倒壊の恐れのあるものから離れ、低い姿勢で、カバンなどで頭を覆う。

(2)地震沈静化後

- ①地震沈静化後は指定された一次避難場所(別紙3)に避難する。
- ②研究室や事務室単位等でお互いに安否を確認し合う。
- ③二次避難場所(別紙4)への誘導があった場合は、それに従って避難する。





2. 火災発生時の対応

火災発生時の三原則		
①早く知らせる	②早く消火する	③早く避難する

(1)早く知らせる

- ①「火事」ということを大声で叫び、近くの人に早く知らせるようにする。
- ②非常ベルがあれば使用し、慌てずに119番に通報する。
- ③守衛所に火事を知らせる。
- ④指導教員・所属の担当事務に連絡する。





(2)早く消火する

- ①身の安全を守るための脱出口を確保してから、バケツ、消火器、濡れた布などを使って消火 に当たる。ただし、薬品火災については、消火器及び水を使用できないものがあるので注意 する。
- ※火が天井に達したときや、危険を感じたときは、初期消火をやめ速やかに避難する。
- ②必要に応じて自衛消防隊(別紙15)を編成し、消火活動に当たる。
- ③消防隊が到着した場合には、火災の延焼状況を報告するとともに、可能な範囲で消火活動に協力する。





(3)早く避難する

火が大きくなった時には無理な消火をしようとせず、次の要領で素早く避難する。

- ①タオルやハンカチで鼻と口を覆い、煙を吸わないようにできるだけ姿勢を低くして避難する。
- ②煙で前が見えない場合は、壁に手を当て方向を確認しながら避難する。
- ③避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉め、延焼をできるだけくい止める。
- ④エレベーターは使用しない。
- ⑤一度避難したら再び戻らない。



3. 風水害発生時の対応

風水害発生時の三原則		
①気象情報に気をつける	②点検補修は早めに	③避難の準備を

(1)風水害発生前

- ①気象情報に注意しながら、自分の居室のある建物の点検を行い、必要に応じて補強する。 また屋外の飛散する恐れのある物を屋内に搬入する。
- ②車やバイク等も必要に応じて移動させる。
- ③低地においては土嚢を準備するなど、浸水防止に努め、重要物品の2階以上の高い部屋へ の移動などの対策をとる。
- ④土砂崩れ等が想定される地区においては、早めに避難準備を進める。

(2)風水害発生時

- ①カーテンやブラインドにより窓ガラスの飛散に備えるとともに、窓ガラスから離れる。
- ②建物の外には出ない。





4. 教育・研究活動中の死傷事故発生時の対応

教育・研究活動中の死傷事故発生時

「教育における安全の指針」に従って対応する。

(九州大学 Web サイト トップページ > 危機管理 > 教育・研究活動における安全管理)



5. 爆破予告を受けた時の対応

爆破予告を受けた(発見した)時

- ①付近職員に爆破予告があったことを知らせる
- ②警察(110)へ通報
- ③危機管理室(092-802-2000、q-crisis@jimu.kyushu-u.ac.jp)へ連絡

6. 自宅等で災害に遭遇した時の対応

- (1)前記1~3を参考に各自安全の確保に努める。
- (2)テレビ、ラジオ等で交通機関及び道路の遮断等の情報収集に努める。
- (3)無理して出勤・登校せずに、大学に連絡あるいは学生ポータル等により休業・休校状況について確認する。
- (4)休業・休校になっていない場合でも、自身で出勤・登校することが危険だと判断したときは 自宅で待機し、大学に事情等を連絡する。
- (5)危険な状態がなくなり、交通機関等が復旧した場合は、大学に状況を確認してから出勤・登校する。
- (6)在宅勤務・遠隔授業等で大学に出勤・登校していない場合は、原則、自宅で待機し、大学に状況を確認する。

Ⅱ安否確認システム(ANPIC)について

福岡県及び隣接する県(山口・佐賀・熊本・大分)で震度 5 強以上の地震が発生した場合に、安否確認システム(ANPIC)から各個人の大学基本メールアドレスに安否確認のメールが自動的に送信されるため、受信した際は速やかに回答を行う。なお、自動送信の範囲外で災害等が発生した際にも ANPIC を使って安否確認を行うことがある。

以下の URL から初期設定を行うことで、他のメールアドレス追加や、ANPIC スマートフォンアプリや LINE での安否確認通知受信が可能。

初期設定ページ

https://anpic-kyushu-u.jecc.jp/kyushu-u/regist/



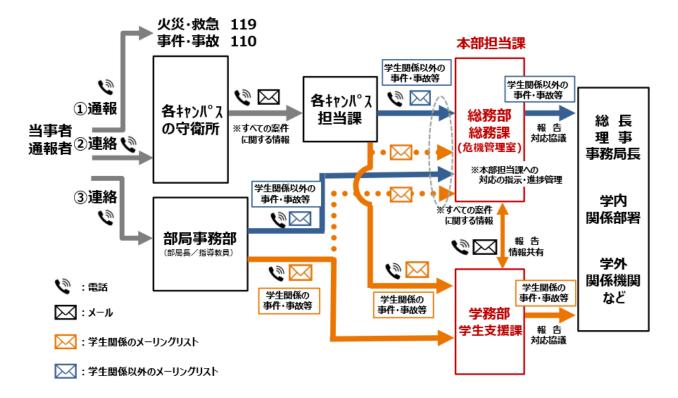
初期設定後のログインページ

https://anpic-kyushu-u.jecc.jp/kyushu-u/login/





危機発生時の連絡体制



※本部担当課の連絡先

<学生関係>	内線:90-5966
学務部学生支援課	夜間休日:080-4953-7356
	080-7036-9717
	080-7036-9695
	e-mail : g-jikenjiko@ml.jimu.kyushu-u.ac.jp
<学生関係以外>	内線:90-2000、2092、2129
総務部総務課(危機管理室)	夜間休日:070-1527-9160
	070-1258-5576
	080-3595-1448
	e-mail : <u>jikenjiko@ml.jimu.kyushu-u.ac.jp</u>

(参考) 守衛所の連絡先

- ・伊都キャンパス(中央西ゲート) 092-802-2305
- ・箱崎キャンパス(正門) 092-642-2196
- ・病院キャンパス(東門) 092-642-6019、(病院南棟1階時間外受付)092-642-5019
- ・筑紫キャンパス(大野城門)092-583-7117、 (春日門) 092-583-7135
- ・大橋キャンパス(正門前) 092-553-4428

災害発生時の外部緊急連絡先

機関名	電話番号	機関名	内線番号
《行政機関·国》		《交通機関》	
文部科学省(代表)	03-5253-4111	J R九州	
文教施設企画·防災部参事官(直)	03-6734-2290	博多駅	092-431-0202
法人支援課(直)	03-6734-3344	吉塚駅	092-651-0018
医学教育課(直)	03-6734-2511	箱崎駅	092-622-5202
福岡管区気象台	092-725-3601	千早駅	092-663-7200
《行政機関・地方》		大野城駅	092-581-4502
 福岡県庁消防防災課	092-643-3111	竹下駅	092-431-4192
福岡市役所	092-711-4111	篠栗駅	092-947-0043
市民局防災·危機管理部	092-711-4056	原町駅	092-938-8003
東区役所	092-645-1007	九大学研都市駅	092-805-3337
中央区役所	092-718-1056	福岡市営地下鉄	
南区役所	092-559-5063	姪浜管区駅	092-881-7800
早良区役所	092-833-4304	天神管区駅	092-741-7800
西区役所	092-895-7037	博多管区駅	092-451-7800
春日市役所安全安心課	092-584-1111	貝塚管区駅	092-651-7800
大野城市危機管理部危機管理課	092-580-1899	天神南管轄区駅	092-715-7800
糸島市役所危機管理課	092-332-2110	西鉄バス	
篠栗町役場総務課	092-947-1111	博多営業所	092-431-6350
福岡県警察本部	092-641-4141	■ 吉塚営業所	092-651-1617
東警察署	092-643-0110		092-565-0461
中央警察署	092-734-0110	早良営業所	092-804-0425
南警察署	092-542-0110	西鉄電車福岡管理駅	092-761-6871
早良警察署	092-847-0110	白木原駅	092-733-3333
西警察署	092-805-6110	昭和バス	755 555
春日警察署	092-580-0110	■ 伊都営業所	092-407-0812
糸島警察署 	092-323-0110	糸島市コミュニティバス	092-332-2062
- 拍屋警察署	092-939-0110	《電気・ガス・水道》	
福岡市消防局	092-725-6600	九州電力	
東消防署	092-638-0119	福岡営業所	0120-986-205
中央消防署	092-524-1501	福岡東営業所	0120-639-457
南消防署	092-541-0219	福岡南営業所	0120-986-207
早良消防署	092-821-0245	福岡西営業所	0120-986-206
西消防署	092-806-0642	西部ガス	
糸島市消防本部消防総務課	092-322-4222	お客様サービスセンター	092-633-2345
春日・大野城・那珂川消防本部	092-584-1191	ガス漏れ専用電話	092-631-0919
陸上自衛隊福岡駐屯地	092-591-1020	水道局保全部保全課	092-292-0265
ーー・・・・・・・・・・ 粕屋南部消防組合消防本部・中部消		営業時間外緊急電話受付センター	0120-290-432
防署	092-938-3216	春日那珂川水道企業団	092-571-7002
《医療機関》		大野城市上下水道局	092-580-1925
福岡市民病院	092-632-1111	《公共機関・放送》	
福岡市急患診療センター	092-847-1099	NHK福岡放送局	092-724-2800
東急患診療所	092-651-3835	FBS福岡放送局	092-532-1111
博多急患診療所	092-441-0020	RKB毎日放送局	092-852-6666
南急患診療所	092-541-3299	テレビ西日本放送局	092-852-5555
城南急患診療所	092-831-7979	九州朝日放送局	092-721-1234
西急患診療所	092-882-3145	T V Q九州放送局	092-262-0019
春日市 福岡徳州会病院	092-573-6622	《その他》	
樋口病院	092-572-0343		092-451-7878
大野城市 原病院	092-581-1631		

伊都地区

一次避難場所

②ウエストゾーン駐車場

①陸上競技場

③テニスコート

- ①松濤錬成場
- ②課外活動施設Ⅱ
- ③小体育館
- 4)ウエスト5号館
- ⑨ウエスト1号館
- 10理系図書館
- ⑪総合体育館
- ①亭亭舎

二次避難場所

(13)生活支援施設



箱崎地区

一次避難場所

※二次避難場所の指定なし

①第一庁舎前ロータリー付近



病院地区

一次避難場所

- ①医学部創立75周年記念庭園
- ②運動場

二次避難場所

- ①医学部百年講堂
- ②体育館



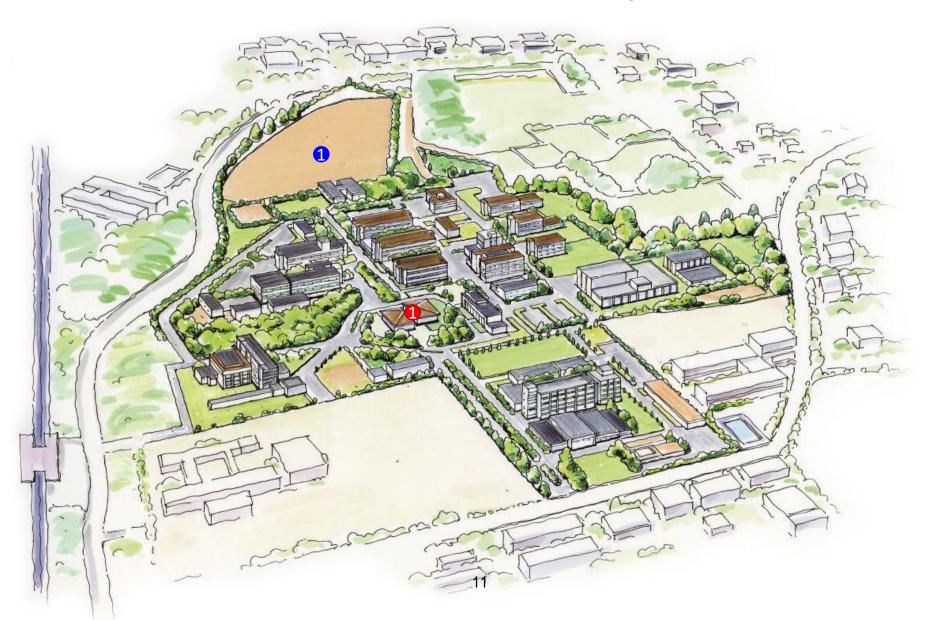
筑紫地区

一次避難場所

①運動場

二次避難場所

①福利厚生施設



大橋地区

一次避難場所

①運動場

二次避難場所

- ①多次元ホール
- ②体育館



九州大学 緊急時対応フロー

学生・教職員の皆様へ

学内で火災、事件・事故、不審者・不審物、盗難などに遭遇したら、 速やかに以下の対応を行ってください

自身の身の安全を確保

通報·連絡

STEP 1

警察 110 消防·救急 119

* 通報する際、大学の許可を得る必要はありません。

STEP 2

守衛所

伊都キャンパス

• 092-802-2305

病院キャンパス

- ●092-642-6019 (東門)
- ●092-642-5019(南棟夜間出入口)

大橋キャンパス

● 092-553-4428 or 090-5292-3130

筑紫キャンパス *平日夜間及び休日のみ

- ●090-3196-3400(大野城門)
- ●090-3196-3401(春日門)

箱崎サテライト

● 092-642-2196

STEP 3

指導教員・ 所属の担当事務

*平日夜間及び休日除く

<担当事務 電話番号>

●人文社会科学系	092-802-6302
●理学部等	092-802-4003
●工学部等	092-802-2708
●農学部等	092-802-4504
●基幹教育·共創学部	092-802-5921
●I2CNER·Q-PIT	092-802-6932
●附属図書館	092-802-2472
●医系学部等	092-642-6240
●芸術工学部	092-553-4408
●筑紫地区	092-583-7502

連絡のポイント

情報をはっきり伝える

When いつ Who 誰が Where どこで

What 何が起こっているか 連絡者の所属、氏名、電話番号

13

●危機管理総合担当

九州大学総務部総務課(危機管理室) 平日日中 092-802-2000 (直通)

休日夜間 ①070-1258-5576 ②070-1527-9160

□ g-crisis@jimu.Kyushu-u.ac.jp



九州大学webサイト